

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成23年4月7日 (2011.4.7)

【公表番号】特表2010-538298(P2010-538298A)

【公表日】平成22年12月9日 (2010.12.9)

【年通号数】公開・登録公報2010-049

【出願番号】特願2010-524002(P2010-524002)

【国際特許分類】

G 0 1 N 21/64 (2006.01)

G 0 1 N 33/542 (2006.01)

C 0 9 K 11/06 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 21/64 Z

G 0 1 N 33/542 A

C 0 9 K 11/06

【手続補正書】

【提出日】平成23年2月16日 (2011.2.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

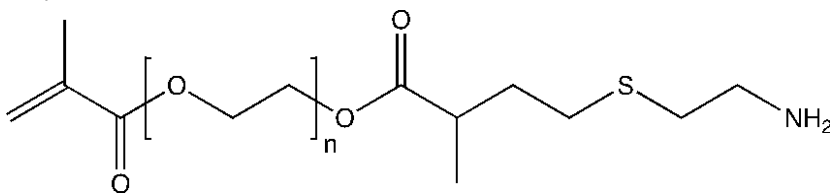
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

試料中の生体分子の近接性を可視化するための方法であって、  
前記試料を、F R E T 粒子ペアで処理する工程であって、  
これにおいて、前記 F R E T 粒子ペアは、各々が、式 I :

【化 1】



式 I

[ 式中、n は、10 ~ 200 である ]

のモノマを含んでなる、30 ~ 50 重量パーセントの架橋ポリマを包含する、2 つ以上の  
蛍光粒子を包含し、

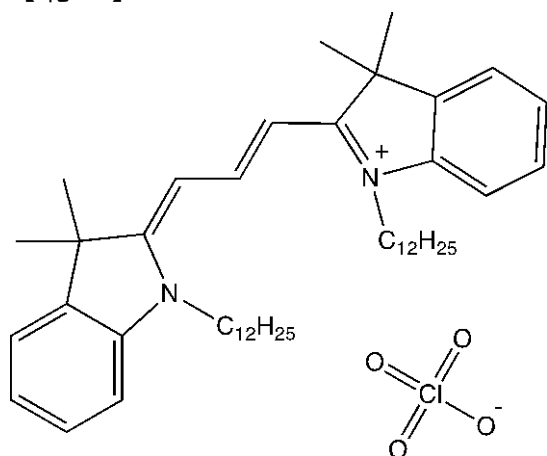
前記蛍光粒子の少なくとも一方は、エネルギードナー色素を包含し、かつ、前記蛍光粒子  
の少なくとも 1 つの別の蛍光粒子がエネルギーアクセプタ色素を包含し、

各蛍光粒子は、外表面に共有結合された 1 つ以上の標的化成分を包含している工程と、  
前記試料を、光源に暴露し、放出される光を、検出器を用いてレコードする工程と、  
を含んでなる方法。

【請求項 2】

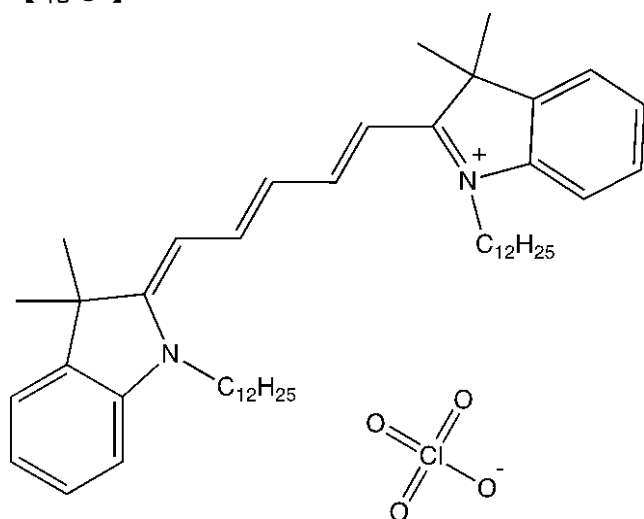
前記粒子が、

## 【化 2】



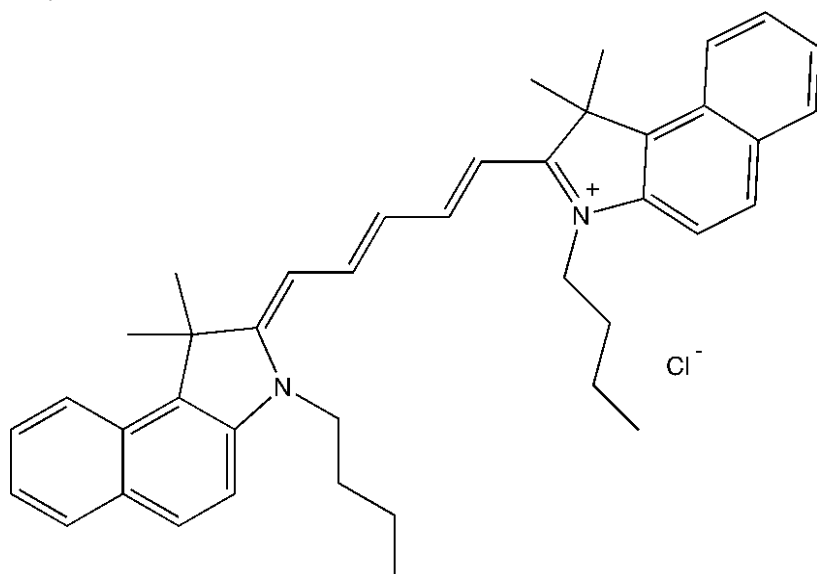
色素 1

## 【化 3】



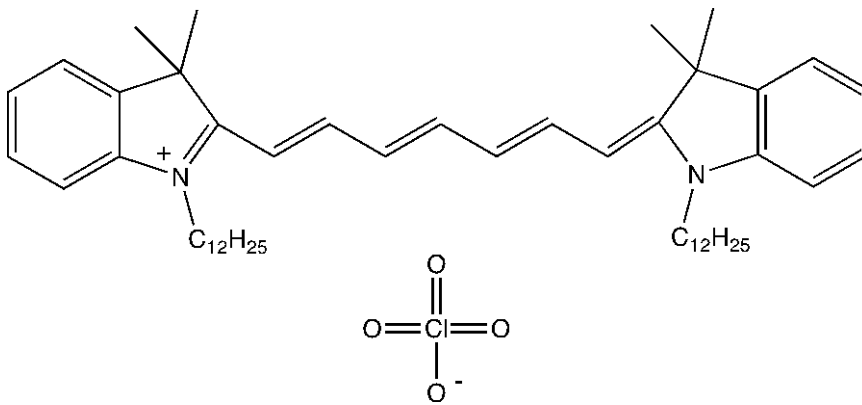
色素 2

## 【化 4】



色素 3

## 【化 5】



## 色素 4

からなる群より選択される少なくとも 1 つの色素を包含する、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 3】

前記 FRET 粒子ペアが、約 550 nm と 650 nm、650 nm と 690 nm、690 nm と 760 nm、又は 650 nm と 760 nm の最大吸収を包含する、請求項 1 に記載の方法。